土（つち）ごとの新聞

1月9日 金曜日

馬

今年の干支を漢字を一文字で表すと..

「土ごとの新聞」は、直売所に出荷する生産者の方々に焦点をあて、その畑や作物、想いを紹介する地域新聞です。土が違えば育つ野菜の味わいも変わる。そんな“土ごと”の魅力を伝えたいという想いからこの新聞が生まれました。毎号、特集する出荷者さんを順次ご紹介をしながら、地域の多様な「土」と「人」の物語をお届けします。

商品入荷はいつなの？

それは…　生産者さんの◎◎次第!?

お客さまからのお問い合わせで、よくいただくのが

「○○、もう出てる？」
「いつ頃入る？」

といったお声です。そうしたお問い合わせに対して、「出荷者さんの栽培計画やご都合によってまちまちですが……」という言葉を添えてお答えすることがあります。

昨今の気候変動や畑の状況により、作物の出来や収穫時期は年ごとに変わります。私たち直売所スタッフも、日々出荷者さんとお話をしながら、「次は何が出そうか」と、情報を聞いていますが、必ずしも予定どおりにいくとは限りません

たとえば、こんなやり取りがあります。

「Aさん、おはようございます！今日は何を出しに来てくれたの？」
「今日はやっと人参ができたけん、それ持ってきたで」
「いつもありがとう♪ところで、ほうれん草とか菜葉の出来はどうです？」
「葉物は今年駄目じゃ、みな枯れたわ」
「ありゃ～、せっかく植えたのに残念だねぇ」
「種撒きなおして、いいがにできたらまた持ってくるけんの」
「ほんと？ありがとう！楽しみに待ってるね！」

また、こんな日もあります。

「◎さん、おはようございます！今日は芋、出しに来てくれた？」
「いやぁ、掘る間がないけん、今日はこれだけよ」
「ありがとう。お客さん、◎さんのお芋を待ってるから、掘れたらすぐ持ってきてね！」
「ほぉか、じゃあ時間取って掘って持ってくるわ」

とまぁこんな感じで、採れたての新鮮野菜を待っていただいてるお客さまの為に、出荷者さんは日々精進してくださっています。人間だから、ちょっと体の調子がよくなかったり、いろんな事で多忙だったり、予定していたことがうまくいかないことも多くあります。そんな時は無理せず、やれる時にやって、行けるときに行く。

道の駅西条のん太の酒蔵の直売所は、出荷者さんの(良い)気分次第でいつも新鮮な野菜や果物が揃う場所なんです。

（鳴川）

グリーンファーム二宮さんの白菜（※袋付）

この世界の片隅に生まれ育ち、「中身がまんま少年だね！」と友からは揶揄され、新モノはとりあえず試してみる好奇心にまみれたホモサピエンスです。

土ごとの新聞 ライター
直売所担当：鳴川

本当にあった よもやま話

［連載名］

”片足のスリッパ”

土ごとの新聞 編集部
企画・広報担当：中谷

アロマテラピーや色彩心理学を学び、香りや色が人のこころや行動に与える影響に関心を持つ。また、人の心のメカニズムや物事の全体を、立体的な視点から構造的に捉えることを得意としている。

ある日、事務所に一本の問い合わせがありました。スリッパの落とし物はなかったか、という内容です。詳しく伺うと、右足だけの茶色のスリッパとのことでした。

落とし物BOXを確認しましたが、残念ながらお預かりはありませんでした。

その旨をお伝えすると、丁寧にお礼を言ってくださいました。

「見つかりましたらご連絡いたしましょうか」とお聞きすると、

「左足で頑張ります」と返ってきて、一瞬、考えてしまいました。

「これから左足はどうされるんですか？」と尋ねると、

「捨てます」

そう教えてくれるのは出荷者の岡田様。鮮度抜群のお野菜を購入できるのは、直売所ならでは。出荷者様が毎日美味しいお野菜などを納品してくださるおかげです。

（中谷）

写真：岡田ご夫妻

すごい立派な白ネギ！中々太くてツヤのあるネギは、スーパーで見かけることは殆どありません。どうしたら立派な白ネギができるのでしょう。「猛暑日の対策や水の管理はもちろん、土づくりが大切。」

令和7年12月15日道の駅西条のん太の酒蔵に新たな飲食店『BOMBAY CURRY EXPRESS（ボンベイカレーエクスプレス）』が、グランドオープンいたしました。ぜひお越しください！